

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上田産「ブランド繭」の育成のための養蚕振興
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 和遊学舎 上田市小牧 1206-4 0268-26-8833
事業区分	産業振興、雇用創出
事業タイプ	ハード
総事業費	3,240,000 円 (うち支援金 : 2,160,000 円)

事業内容

全国的にも知名度の高い上田紬は、海外の輸入生糸により織られている状況。地場の織物として上田での養蚕による「ブランド繭」の育成が必要となっていた。

このために遊休荒廃農地を桑園として養蚕復興に取り組み、「蚕都上田」の魅力と特色ある地場産業として純上田産絹製品 “ブランド力” のある創作絹織物の製作、育成を行う。

事業効果

○昨年の整備事業を踏まえ、春蚕期と秋蚕期 2 回飼育し、純上田産生糸が採れた。今年度、撚糸機の導入により手織で新繭「上田縞」の着尺(きもの)を製作した。

○障害福祉事業所の就労移行支援・就労継続支援B型施設「和裁舎」&農業班(養蚕関係)との連携を行い、農福連携、高齢者雇用、障害者雇用創出を行った

○大阪芸術大学 福原教授はじめスタッフ・学生が里山環境の整備を行った。(信濃毎日新聞・雑誌 KURA 取材掲載)

今後の取り組み

○「日本の絹」は評価が高くニーズが期待されている。養蚕復興により農業の活性化と安定的、継続的に地場産業の育成を進める

○桑園、蚕室のある地区の住民の皆さんとの交流を図る。

○里山を含め観光スポットとしての活用も図る。

○県東北信地域に皆無となっている養蚕、糸とり、染め、機織り、販売までの一貫した純上田産上田紬織物の “生いたち” の全容を見ることが出来る全国的にも唯一のステージとなる。



【生糸撚糸中】

【目標・ねらい】

【理由】

- ①素材から製品までの一貫生産
- ②地域障害者・高齢者雇用の創出
- ③伝統文化ブランディング&継承
- ④地域の歴史遺産の再発掘
- ⑤里山環境保全
- ⑥遊休荒廃農地の利活用

※自己評価 【A】

農福連携、高齢者雇用、障害者雇用創出を行った。

地域の皆さんからの遊休荒廃地の提供があった。

里山環境整備の専門家によるボランティアにより整備が行われた。